

令和3年度 森林環境譲与税の使途公表

1 「森林環境税」及び「森林環境譲与税」
パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された税制度である。
(1)「森林環境税」
・国内に住所を有する個人に対して課する国税として、令和6年度から課税される。(税額は年1,000円／人)
(2)「森林環境譲与税」
・市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるものとして創設されたもので、令和元年度から譲与が開始された。令和6年度以降は「森林環境税」が財源となる。
・市町村が実施する①森林整備の他、②人材育成、③木材利用の促進、④普及啓発等の間接的なものにも活用できる。

2 令和3年度事業実績

市町村名	事業名	事業総額(円)			事業内容	税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和3年度の森林環境譲与税(円)	(B)うち他の財源(円)		
千葉市	優良森林整備事業(森林等の安全対策・災害に強い森づくり事業)	9,003,000	2,519,552	6,483,448	送配電施設に近接し、所有者の自助努力によって整備が期待できない森林について、自然災害等による施設被害を未然に防止するために森林整備を行い、経費に対して補助を実施した。	【総括】 税の活用により、手入れの行き届かない森林への災害による風倒木等の被害を未然に防ぐ森林整備を図ることができた。 【詳細】 ・災害防止や景観維持等を図るため森林整備を実施し、市民の安全性の向上と愛着醸成につなげることができた。 ・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大防止に取り組んだ。 ・森林整備の担い手育成のため、里山・谷津田等で保全活動を行うボランティア団体等の活動支援を行った。 ・地域産材の活用により木材需要を拡大するとともに、公園・谷津田等への木製製品を整備し、健康的で快適な空間の提供を図ることができた。 ・市内保育所等へ千葉県内の森林整備で搬出された木材(間伐材等)を活用した木育おもちゃを配布し、保護者に対しても間伐材利用のメリットについて普及啓発を図ることができた。
	優良森林整備事業(森林等の安全対策・被害森林整備事業)	1,415,000	1,415,000		気象災害等により倒木などの被害を受けた、適切な管理ができない森林について、残置による病害や、二次被害を防止するために森林整備を行い、経費に対して補助を実施した。	
	優良森林整備事業(森林等の安全対策・地域森林環境整備事業)	2,639,000	2,639,000		国の災害に強い森づくり事業の対象とならない森林について、同制度と同様に施設被害を未然に防止するために森林整備を行い、経費に対して補助を実施した。	
	優良森林整備事業(森林等の安全対策・放置竹林の伐採及び対策に係る実証試験)	2,690,600	2,690,600		道路遮断や民地への侵入等の被害が発生している放置竹林を駆除し、被害の拡大を防ぐ実証試験を実施した。	
	東千葉近郊特別緑地保全地区の景観等の向上を目的とした森林整備	3,884,100	3,884,100		東千葉近郊緑地特別保全地区における良好な森林環境の維持回復を図るため、処理が必要な支障木約300本について伐採及び一部区域における苗木の補植等を実施した。	
	特別緑地保全地区等樹木管理	4,556,200	4,556,200		倒木や落枝による災害防止や越境対策のため、特別緑地保全地区内の樹木の剪定・伐採などの樹木管理を実施した。	
	カシノナガキクイムシによる被害対策事業(花見川・稲毛公園緑地事務所)	32,774,500	32,774,500		カシノナガキクイムシによる被害の拡大を防止するため、森林内の被害木について、伐採・撤去焼却及び根株燻蒸処理を実施した。	
	カシノナガキクイムシによる被害対策事業(公園管理課)	3,534,300	3,534,300		カシノナガキクイムシによる被害の拡大を防止するため、森林内の被害木について、伐採・撤去焼却を実施した。	
	森林振興推進事業(千葉県森林経営管理協議会運営費)	317,000	317,000		森林経営管理法及び森林環境譲与税に基づき市が新たに取り組む施策を円滑に進めるため、千葉県、市町村及び千葉県森林組合連合会で構成する千葉県森林経営管理協議会に入会し、負担金を拠出した。	
	森林振興推進事業(会計年度任用職員の任用)	279,655	279,655		千葉県森林クラウドサービスを活用し、伐採届・所有者届の入力や林地台帳の運用等の事務を速やかに行うための会計年度任用職員を任用した。	
	森林振興推進事業(千葉県森林クラウド年間利用料)	82,500	82,500		林地台帳や伐採届の管理等、森林整備に係る情報を集約し管理するため、千葉県森林クラウドシステムを利用した。	
	里山の保全推進事業(森林ボランティア育成研修支援)	198,600	198,600		森林の保全整備を担う森林ボランティアが森林整備技術向上のための研修参加に必要な受講料に対し支援した。	
	ボランティア団体森林整備用消耗品	145,894	145,894		谷津田において保全活動を実施している団体に対し、森林整備用の消耗品及び刈り払い機等の燃料費を支援した。 消耗品費:20,000円×5団体 燃料費:10,000円×5団体	
	谷津田看板(国内産木材使用)の設置	1,751,200	1,751,200		谷津田に設置されている老朽化が著しい看板について、新たに国内産木材の看板を設置した。 2基×4地区	
	加曽利じゅん菜池公園木製デッキ更新	4,048,000	4,048,000		加曽利じゅん菜池公園の魅力であるじゅん菜池の自然とのふれあいの機能回復を図るため、県産材を利用した木製デッキを更新した。	
	昭和の森木製テーブル・ベンチ設置	13,167,000	13,167,000		昭和の森内に県産材(市産材)を活用した木製テーブルベンチ・木製ベンチを設置した。 木製テーブルベンチ 16基 木製ベンチ 16基	
	里山の保全推進事業(森林整備等普及啓発事業支援)	29,957	29,957		森林の保全整備を担う森林ボランティア団体が行う研修やイベントの参加に必要な経費に対し、支援をした。	
	景観等の向上を目的とした森林整備	4,598,110	4,598,110		自然災害等により荒廃している谷津田内の森林のうち、危険の未然防止・景観上の問題から専門家による作業が必要な箇所について別途委託により森林整備を実施した。	
	谷津田の森林に係る保全計画策定	4,092,000	4,092,000		活動団体と連携して保全している谷津田内の森林について、計画的に整備を実施するための計画(保全管理方針)を策定した。	
	保育所等への木育おもちゃの配布	1,139,050	1,139,050		幼少期から木に親しめるように、千葉県内の森林整備で搬出された木材(間伐材等)を利用した木育おもちゃ(つみぎ等)を製作し、市内保育所等に配布した。また、材料として間伐材を用いることによるメリット(森林の健全な育成、温暖化対策のための吸収源の整備)について、保護者に対して普及啓発を実施した。	
	地域環境保全基金(森林環境譲与税)積立金	2,950,782	2,950,782	0	森林整備や公共施設への木製製品の導入等を進めるため、積立てる。	
	合計	93,296,448	86,813,000	6,483,448		

3 令和3年度地域環境保全基金(森林環境税)への積立金総額 96,102,164
内訳 令和2年度地域環境保全基金(森林環境譲与税)残高 93,151,382
令和3年度地域環境保全基金(森林環境譲与税)繰越金 2,950,782